

放課後等デイサービス 自己評価表(事業所)

公表：令和3年3月12日

児童発達支援事業所 とさっちくらぶ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1) 配慮はしているが、年代に応じて身体が動きも大きくなり、少し狭い時もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			1) 1対2の支援員がペアで関わられる必要がある場合に毎回は実施できていない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		1) 玄関前が階段になつている、移転時には配慮します。 2) 行っているが、構造上難しい個所もある。 3) 段差やトイレが狭いため移乗のしづらさ
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			1) 全員で毎朝のミーティングで報連相を、また療育支援の前後にPDCAを行っている。 2) ミーティングを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1) 事業所の評価結果は全員で把握し、改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			1) オンラインを含め研修を行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1) 定期的なアセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			1) ミーティングを行い立案している。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1) 多職種で関わっている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1) コロナの影響で集団活動は減っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			1) 毎回できない場合もあるが、必要に応じて行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			1) カルテの記載を行っている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			1) 学校により対応は様々であるが、出来る限り行っている。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			1) 対象児がない。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			1) 担当者会を実施している。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		1) 対象者がいない。 2) 対象児がない。 3) 対象となる子がない。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		

の 連 携	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			1) できる限り行っているが、回数・頻度としては、不足しているかもしれない。 2) 送迎時に話をするようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			1) 地域で定期的にペアプロの講習会を開催している。 2) ペアプロ事業は行っているが、まだ周知はされていない。 3) ペアレントプログラムを令和2年度から行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			1) できる限り行っているが、回数・頻度は不足しているかもしれない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		○	1) 保護者会などが運営する児童クラブへ訪問し環境設定や接し方などの相談に応じている。 2) 今後検討する必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			1) 苦情受付の担当者を決めています。契約時にも説明をして、開所中はいつでも受け付けています。そして迅速かつ適切に対応しています。 2) 職員間で情報共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	1) 定期的ではなく、不定期で発行。 2) とさっちだよりを定期的に発行していきたい。 3) 定期的な発行はしていない。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			1) 絵カードや視線入力装置なども使いながら行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			1) 直接の指示はないが、保護者から内容は確認している。 2) 保護者に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			